
令和 8 年度 技能検定 1 級 眼鏡作製 学科試験代表問題(※)

1. 試験時間 90 分

2. 問題数 50 題

3. 合否発表

2025 年 6 月 9 日（火）眼鏡作製技能検定の公式サイト

(※)2026 年度から採用された CBT 方式で、受検者ごとにランダムに提示された問題の内の代表例になります。

1. 調節休止状態で網膜共役点が眼前 0.5m の眼で正しいのはどれか。
 - A. 0.50D の近視
 - B. 0.50D の遠視
 - C. 2.00D の近視
 - D. 2.00D の遠視

2. 角膜乱視が 1.00D の倒乱視で、残余乱視が 0.50D の倒乱視の場合、全乱視の予測で正しいのはどれか。
 - A. C-0.50D Ax180°
 - B. C-1.50D Ax180°
 - C. C-0.50D Ax90°
 - D. C-1.50D Ax90°

3. S-1.50D で補正される近視眼の眼軸が 1mm 長くなった場合、屈折補正度数で正しいのはどれか。
 - A. S-2.50D
 - B. S-3.50D
 - C. S-4.50D
 - D. S-5.50D

4. 20 歳代以降に現れる水晶体の加齢変化に関する記述で誤っているのはどれか。
 - A. 黄変し、可視光の短波長領域の透過率が低下する。
 - B. 紫外線の透過率が高くなる。
 - C. 無調節時の厚みは厚くなる。
 - D. 硬化し、弾力性が低下する。

5. 屈折補正度数が S+2.00D で調節力 2.00D の眼に S+4.00D の眼鏡を装用させたときの近点で正しいのはどれか。
 - A. 眼前 50cm
 - B. 眼前 40cm
 - C. 眼前 25cm
 - D. 眼前 16.7cm

6. 屈折補正度数が $S+2.00D$ で調節力 $1.00D$ の眼に $S+2.00D$ 、 $ADD+2.00D$ のバイフォーカル眼鏡を装用させたとき、遠用部・近用部のいずれを用いても明視域に入らない位置はどれか。小数点以下は四捨五入している。
- A. 眼前 100cm
 - B. 眼前 65cm
 - C. 眼前 50cm
 - D. 眼前 40cm
7. 小数視力 0.1 のランドルト環の外径が 60mm の場合、その視力表の測定距離で正しいのはどれか。
- A. 400cm
 - B. 300cm
 - C. 150cm
 - D. 40cm
8. logMAR 表示で +0.3 に相当する 5m 視力表のランドルト環の切れ目の幅で正しいのはどれか。
- A. 3.0mm
 - B. 4.5mm
 - C. 6.0mm
 - D. 7.5mm
9. 裸眼で眼を細めて遠方を見たとき、最も視力値が良いのはどれか。
- A. 近視性複性乱視の倒乱視
 - B. 近視性複性乱視の直乱視
 - C. 近視性単性乱視の倒乱視
 - D. 近視性単性乱視の直乱視
10. 放射線乱視表を用いた乱視測定において、マイナス円柱レンズの軸の決定に最も関係が深いのはどれか。
- A. 前焦線の方角
 - B. 後焦線の方角
 - C. 前焦線から後焦線までの距離
 - D. 最小錯乱円の大きさ。

11. 光が発生するのはどれか。
- A. 色温度
 - B. コヒーレンス
 - C. ルミネセンス
 - D. バージェンス
12. 全反射に最も関係する角で正しいのはどれか。
- A. 偏角
 - B. 屈折角
 - C. 臨界角
 - D. ブルースター角
13. 眼球光学系について誤っているのはどれか。
- A. 眼球の射出瞳は観察できない。
 - B. 入射瞳は実際の瞳孔の大きさのこと。
 - C. 観察される瞳孔径は実際の大きさではない。
 - D. 接眼レンズの射出瞳が眼の位置にあると視野全体を見ることができる。
14. 眼球光学系について誤っているのはどれか。
- A. 大部分の紫外線は網膜まで到達しない。
 - B. 角膜裏面のプルキンエ・サンソン像も観察できる。
 - C. 水晶体の屈折率は中心部に向かうほど徐々に高くなる。|
 - D. RG（赤緑）テストは波長による散乱の違いを利用している。
15. レンズについて誤っているのはどれか。
- A. 円柱レンズは平行光線束を入射させたときに焦線を形成する。
 - B. 円柱レンズでは屈折力を持たない方向を円柱軸と呼ぶ。
 - C. トロイダル面を持つレンズをトーリックレンズと呼ぶ。
 - D. トーリックレンズの弱主経線を第一主経線と呼ぶ。

16. 屈折補正度数が値 $S-1.00D$ $C-1.00D$ $Ax180^\circ$ の眼に対して、 $S-1.00D$ $C-1.00D$ $Ax90^\circ$ を装用した場合の残余屈折力で正しいのはどれか。

- A. $S+1.00D$ $C-2.00D$ $Ax90^\circ$
- B. $S+1.00D$ $C-2.00D$ $Ax180^\circ$
- C. $S+2.00D$ $C-2.00D$ $Ax90^\circ$
- D. $S+2.00D$ $C-2.00D$ $Ax180^\circ$

17. 矢印で示す部分の正式（JIS）名称として正しいのはどれか。

- A. モダン
- B. 先セル
- C. テンプル
- D. テンプルチップ



18. 「K18」と表示のある眼鏡フレームの金属部分の全重量が 20g で、金属部分がすべて K18 で構成されている場合、このフレームに使われている純金の重量で正しいのはどれか。

- A. 10g
- B. 15g
- C. 18g
- D. 20g

19. フレームの表面処理で誤っているのはどれか。

- A. ベット甲の耐久性、耐食性を高めるための表面樹脂処理加工がある。
- B. UV硬化樹脂を使用したカラー塗装は自店での作業が可能である。
- C. 眼鏡業界で言われる七宝とはガラス工芸とは異なり主にエポキシ樹脂が使われる。
- D. 転写とは印刷した転写紙を転写する部分に張り付けて化学処理をして行う方法である。

20. 顔を長く見せるフレームの上下幅として正しいのはどれか。

- A. 顔の眉から下あごまでを三等分したときそれよりも長めにする。
- B. 顔の眉から下あごまでを三等分したときそれと同じくらいにする。
- C. 顔の眉から下あごまでを三等分したときそれよりも短めにする。
- D. フレームの天地幅を 35～40mm 程度にする。

21. 累進屈折力レンズについて誤っているのはどれか。
- A. 外面累進より内面累進の方が揺れ歪みが少ない。
 - B. 累進レンズの遠用部で側方視すれば像はぼやけて見える。
 - C. プリズムシニングの量は度数により左右で異なる場合がある。
 - D. レンズメーターで測定した屈折力は処方度数（注文度数）とは異なる。
22. 眼鏡レンズ（プラスチック、ガラス素材）の条件で誤っているのはどれか。
- A. 経年変化が少ない。
 - B. 加工性に優れている。
 - C. 均質で透明度がよい。
 - D. 屈折率、アッベ数、比重のバランスは重要ではない。
23. S-6.00D の球面レンズの前面と後面のカーブを変化させた場合で誤っているのはどれか。
- A. レンズの光学中心を使用する時はカーブの影響はなくなる。
 - B. 非点収差が最小になるカーブでは、周辺視時の等価球面度数は強くなる。
 - C. 両凹レンズ形状になるカーブでは、周辺視時の等価球面度数は強くなる。
 - D. メニスカスレンズでは、レンズ周辺部の非点収差の影響は最小限になる。
24. アッベ数の高い素材について正しいのはどれか。
- A. 屈折率が高い。
 - B. 比重が大きい。
 - C. 収差が大きい。
 - D. 色分散が小さい。
25. 眼鏡の取り扱いについて正しいのはどれか。
- A. 眼鏡は片手で素早く取り外す。
 - B. 眼鏡を保管する場合は冷蔵庫で保管する。
 - C. 眼鏡を一時的に外した場合は凸面を下向きにして置く。
 - D. 眼鏡を保管する場合は防虫剤や薬品等の入った場所への保管は避ける。

26. ルーペについて誤っているのはどれか。
- A. ルーペに眼を近づけるほど倍率が大きくなる。
 - B. ルーペを通して物体から生じる実像を観察できる。
 - C. ルーペの倍率は 250 mmの明視距離を基準として決められる。
 - D. ルーペの焦点距離に物体を置いた時の倍率を基準倍率と呼ぶ。
27. Albert Mehrabian(アルバート・メラビアン)によるコミュニケーションの三大要素の影響について、影響力が大きい順に並んでいるものはどれか。
- A. 言葉・視覚・声や声の調子
 - B. 視覚・声や声の調子・言葉
 - C. 声や声の調子・言葉・視覚
 - D. 声や声の調子・視覚・言葉
28. 急に見にくくなったと言ってきたお客様に対して、最初に追加で質問する内容はどれか。
- A. 「遠くですか、近くですか？」
 - B. 「いつからですか？」
 - C. 「何が見にくいのでしょうか？」
 - D. 「目の疲れはありますか？」
29. 平面な床が下り坂あるいは上り坂に見える可能性がある度数の組み合わせで正しいのはどれか。
- A. 右 : C-1.00D Ax90°、左 : S-1.00D
 - B. 右 : C-1.00D Ax180°、左 : S-1.00D
 - C. 右 : C-1.00D Ax45°、左 : C-1.00D Ax45°
 - D. 右 : C-1.00D Ax45°、左 : C-1.00D Ax135°
30. 眼科処方箋にプリズム指定がある場合の対応で誤っているのはどれか。
- A. 自店での装用テストを行う。
 - B. プリズムの基底方向による視線の向き等の説明をする。
 - C. プリズムが入ることでレンズの厚さが増すことを説明する。
 - D. 装用テストで違和感を訴えたのでプリズムを外して製作した。

31. トーリックレンズを望遠鏡式レンズメータで測定したところ、1 番目にピントが合った時の値は $-2.75D$ 、2 番目にピントが合った時の値は $-3.50D$ でその時のコロナの流れている（方向と平行にスケールを合わせた時の）角度が 30° の場合、度数で正しいのはどれか。
- A. $S-2.75D \ C-3.50D \ Ax30^\circ$
 - B. $S-3.50D \ C-0.75D \ Ax120^\circ$
 - C. $S-3.50D \ C+0.75D \ Ax30^\circ$
 - D. $S-2.75D \ C-0.75D \ Ax30^\circ$
32. 遠用 PD65mm、作業距離が 300mm とした場合、計算から求める近用の心取り点間距離で正しいのはどれか。ただし、角膜頂点間距離 12mm、回旋点 13mm とする。
- A. 59mm
 - B. 60mm
 - C. 61mm
 - D. 62mm
- 33 プリズム入りの眼鏡を調製(プリズムは偏心で付加)する場合、加工上最低限必要なレンズ生地径で正しいのはどれか。
- フレームサイズ： 54□16、玉形最大径 54mm
- A. 58mm
 - B. 62mm
 - C. 70mm
 - D. 72mm
34. スラブオフ加工で正しいのはどれか。
- A. 累進屈折力レンズを薄く仕上げるために用いる。
 - B. 左右レンズの重さを揃えるために用いる。
 - C. 不同視のバイフォーカルレンズに用いる。
 - D. プラスレンズのほうが、効果がある。
35. レンズ止め金具が前にあるタイプの強度近視ツーポイント加工で誤っているのはどれか。
- A. 金具とレンズ面を平行にして止める。
 - B. 長いネジを使用してきつめに締める。
 - C. 後面に斜めワッシャを使用する。
 - D. 後面穴開け部分を座繰り（切り込み）ドライバーで水平にする。

36. レンズ縁のヤゲン角度（頂角）で正しいのはどれか。
- A. 30°
 - B. 90°
 - C. 120°
 - D. 150°
37. バフモーターを用いて艶出し研磨を行い仕上げを均一する方法で正しいのはどれか。
- A. 高速回転にする。
 - B. 粗目のサンドペーパーを使用する。
 - C. バフに素材を当てる力を強くする。
 - D. 一方向のみでなく多方向から満遍なく当てる。
38. フィッティングの目的で誤っているのはどれか。
- A. 力学的フィッティングでは、眼鏡重量を合理的に分散させることが重要である。
 - B. 光学的フィッティングでは、そり角、装用時前傾角、角膜頂点間距離を正確に合わせる。
 - C. 基本調整では、加工後にフレームの角度、パッド位置合わせを左右対称にする。
 - D. レンズの枠入れ加工後の最終フィッティングでは、加工中に起こるフレームの型くずれ等を修正する。
39. 光学的フィッティングで正しいのはどれか。
- A. 眼鏡レンズの後面頂点と角膜頂点との距離は 16 mm を基本とする。
 - B. 頂点間距離が変わることによって、目に対する屈折補正効果は変化する。
 - C. 装用時前傾角は、遠用眼鏡では 15～20°、近用眼鏡では 5～10° に合わせる。
 - D. 装用時そり角は、遠用眼鏡では 20°、近用眼鏡では 10° に合わせる。
40. 鼻の角度（片側）が 30°、片側の鼻にかかる眼鏡の重量が 15g とする。片側の鼻の面に垂直にかかる力で正しいのはどれか。但し摩擦が全くないものとし、ビッセルスの公式を用いて計算すること。
- A. 15g
 - B. 20g
 - C. 25g
 - D. 30g。

41. 解剖学的フィッティングにおける骨格形状で誤っているのはどれか。
- A. 外耳孔の後方下部には、乳様突起が突起している。
 - B. 眼鏡調整にとって重要な骨は鼻骨と側頭骨である。
 - C. 鼻の上半分は鼻骨で下半分は大部分が軟骨で形成されている。
 - D. 側頭骨は外耳孔を覆うような形で、その面は軽く隆起し、下方に行くにしたがって少し外側に曲がっている。
42. 玉形上下幅 34mm のフレームをフィッティングする時、バランスが良いとされる瞳孔中心高さの底辺からの距離で正しいのはどれか。
- A. 約 22.0mm
 - B. 約 20.5mm
 - C. 約 18.5mm
 - D. 約 17.0mm
43. フィッティングの実務で正しいのはどれか。
- A. プラスチック材質は熱伝導率が大きく、芯の方まで十分に温めるのは容易である。
 - B. クリングスパッドの位置調整には、先細プライヤーを使用しパッド足の先端の部分で修正する。
 - C. 頂点間距離に左右差があるケースでは、テンプルの開き幅の調整が左右アンバランスなことが考えられる。
 - D. テンプルの開き幅の調整では、こめかみ部分の接触は強めにして、耳より 1/3 程度の部分で接触させ、後頭部方向へカーブをつける。
44. 遠用ビジュアルポイントの測定方法で正しいのはどれか。
- A. 測定者と装用者の眼の高さを合わせる。
 - B. 測定者は正面から自身の右眼で装用者の右眼を測定する。
 - C. 装用者の正面からペンライトを当て角膜反射の位置を読み取る。
 - D. 装用者がメガネを掛けて痛くなければ販売時のフィッティングは不要である。
45. 販売時のフィッティング手順の順番として正しいのはどれか。
- ① 頂点間距離の左右バランス確認と調整。
 - ② テンプルチップの曲げ伸ばしによる耳周りの調整
 - ③ 頂点間距離と眼鏡の高さ決定のためのパッド調整。
 - ④ 全体幅と耳介頂点への掛かり具合の確認とそれらへの調整。
 - ⑤ 前から見たフロント部の傾きの確認と装用時前傾角の確認およびそれらへの総合的な調整。
- A. ⑤①③④②
 - B. ②③④⑤①
 - C. ④⑤①③②
 - D. ①②③④⑤

46. 個人情報保護法について正しいのはどれか。
- A. 個人情報保護法は、基本的な個人の権利を定めたものである。
 - B. 個人情報保護法は、「個人情報の保護」と「個人情報の活用」の両方を適切に管理する必要から施行された。
 - C. 個人情報を取扱うにあたって事業者は、本人から個人情報を取得する場合に本人に対してその利用目的を明示する必要はない。
 - D. 事業者や店舗で得られる個人情報は、その事業者や店舗で使用する限りは、あらゆる目的で使用してもよい。
47. 障害者総合支援法について誤っているのはどれか。
- A. 2013 年の法改正以前は障害者自立支援法と呼ばれていた。
 - B. 旧法での障害程度区分を改め、厚生労働省で定めた障害支援区分とした。
 - C. 旧法では、身体障害や知的障害など障害の種類によって福祉サービスに差があったが、それを共通の制度にした。
 - D. 日常生活において「できること」と「できないこと」に着目し、「できないこと」の項目が多いと障害の程度が重いという考えが基本となっている。
48. 対応として正しいのはどれか。
- A. 眼振の人が来た。視力は大変良かったので、眼鏡を作製した。
 - B. 強度近視の人が来た。視力がやや悪かったがそのまま眼鏡を作製した。
 - C. 糖尿病の人が眼鏡を作製に来た。視力がやや悪かったがよく見えるということで眼鏡を作製した。
 - D. 糖尿病の人が視力低下を訴え、眼鏡作製を希望し来店したので、まず眼科を受診するように勧めた。
49. 4 か月前に眼鏡を作製した 10 歳の児童が、学校が発行した受診勧奨用紙を持って、眼鏡の更新を希望して再来店した場合の対応で正しいのはどれか。
- A. 眼鏡レンズを交換、更新し、顧客に納品する際には、受診勧奨用紙に視力、矯正視力の結果を記載し、該当する屈折病名を選び、コメント欄に「必ず眼科を受診する事」と添えて店名のみを記入して保護者に手渡さなければならない。
 - B. 4 か月後の更新であるため、問診は必要だが、AC/A 比やアイポイントはほとんど変化しないため測定する必要はない。
 - C. 4 か月で眼鏡を更新する場合は、わずかでもアイポイントの変化に応じてフレームも更新しなければならない。
 - D. 再来店したときに、10 歳の児童であること、受診勧奨用紙を持参していることから、眼科受診を勧める。

50. 過去に眼鏡の使用経験がない 50 歳のお客様への対応で誤っているのはどれか。
- A. 眼鏡を希望した理由が急激な視力低下であれば、まず眼科受診を勧める。
 - B. 運転免許更新のための眼鏡作製希望であった。急いでいるとのことなので、まず眼鏡を作製した上で、眼科受診を勧めた。
 - C. 持参した眼鏡処方箋に基づき眼鏡を作製したが、コンタクトレンズの希望もあったので、コンタクトレンズ販売店を紹介した。
 - D. 「近くが見にくくなった」との訴えで、年齢的にも老視の可能性が高いが、初めての眼鏡作製でもあり、念のため眼科受診を勧めた。